

10月11日(土)～19日(日)

場所 ヒカリ美術館



## 「大地は器」 社会と日常とアート

▲ 荻野祥行 舞踏パフォーマンス 10月19日(日) 16:00～16:30 (参加費 ¥1,000)

ヒカリ美術館 Exhibition 2025

池田修造

円筒形の空間に描いた「松、砂、夕日の障壁画」

木本景子 「色がきこえる、線でわかる」



## 「大地は器」社会と日常とアート

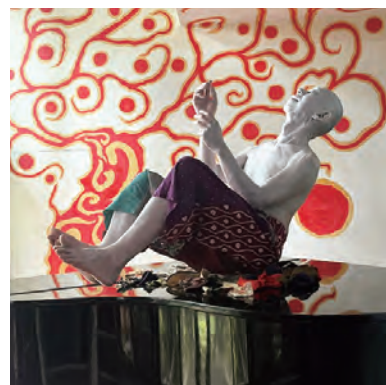
2025年今年も暑かった。35度超えがあたりまえ。丹後の30年前の春から夏に向かう季節には、夏の香りが漂い始め、コップに井戸水を入れると水滴がつくありさまは風情があり、懐かしい。日本という場所は美しい時間の流れを感じさせてくれ、もっとも曖昧な文化の源泉でもあります。しかし明治以降、西洋の文化文明を学ぶことが目標となり、世界を驚かすスピードで西洋の文化文明を吸収し、80年前には世界戦争の禍に巻き込まれ敗戦国となった。その後も日本は西洋の文化文明の呪縛から解放されることがなく今日まで来た。しかしこの閉塞感と風土の異常を感じているのは確かである。今回の展覧会では曖昧な文化が浮遊している「日常」を体感してもらえたらと思います。

### 荻野祥行

20代の頃より舞踏に惹かれ、身体を媒体とした表現を探究している。舞踏では『何かを表現しようとする意識』をあえて手放し、理性を超えて空っぽの状態に身を置く。その時に立ち現れる微細な動きを丁寧に受け止めることで、内と外を揺るがす身体表現を目指している。2020年より市民舞踏団『但馬罐頭楼』に参加。

### Yoshiyuki Ogino

I have been attracted to Butoh since my twenties, exploring the medium of expression through the body. In Butoh, I discard the “consciousness of trying to express something” and places myself in a state of emptiness beyond reason. By carefully receiving the subtle movements that emerge at that time, I aim for physical expression that shakes the boundaries between inside and outside. Since 2020, I have been a member of the community dance troupe “Tajima Kanjakuro”

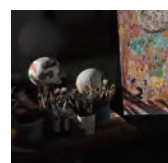
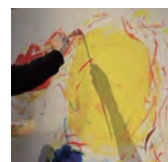
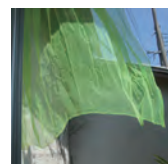


### 池田修造

2010年 大地は器「2010 日韓間人展中浜」  
2015年「大地は器2015」 2017年「日本海×アート×漂流」  
2018年「メタモルフォーゼ×アート×漂着」  
2020年 文化庁伝統文化親子教室「タジマモリとトキジクノカグノコノミ」  
2021年 文化庁伝統文化親子教室「浦島太郎と龍宮」  
2022年 環境と観光のアートプロジェクト竹アート「久美浜の龍 天と地をつなぐ」  
2023年「大地は器2023 土と絵と音」

### Shuzo Ikeda

2010 The Earth is a Circle “2010Japan-Korea Hashiudo exhibition in Nakahama”  
2015 “The Earth is a Circle”  
2017 “Japan Sea × Art × Drifting”  
2018 “Metamorphosis × Art × Drifting”  
2020 Agency for Cultural Affairs Traditional Culture Parent and Child Class  
“Tajimamori and Tokijikunokagunokonomi”  
2021 Agency for Cultural Affairs Traditional Culture Parent and Child Class  
“Urashima Taro and Doragon Palace”  
2022 Environmental and Tourism Art Project Bamboo Art “Kumihama Doragon Connecting Heaven and Earth”  
2023 “The Earth is a Circle 2023 Earth, Paintings and Sound”



### 木本景子

23年間住んでいたベルリンから2022年に豊岡市但東町へ移住。今、私たちが住んでいる場所から子午線塔が見えます。日本時間基準となる東経135度がこの地域を通っている。なんだか地球の大きさを感じませんか。また夜空に光る星は今も存在しているか不明ですがその光はここに到着しています。目の前の風景はそこにあると認識していますが、もしかすると「すでに消えている風景」を見ているのかもしれない。

### Keiko Kimoto

In 2022 we moved from Berlin—our home for 23 years—to Tanto-cho, Toyooka City. From our house we can see the Meridian Tower, and the 135th meridian east, the reference for Japan Standard Time, runs through this area. It makes you feel the Earth’s vastness. The stars we see at night may no longer exist, and yet their light reaches us here. We take the landscape before us to be present, but perhaps we’re already looking at one that has disappeared.

